

苅田町青少年育成町民会議だより



すこやか

No.9. 1992年(平成4年) 11月25日



歩いて、また再発見



健全育成部会主催の第3回ふれあいウォークラリーが、11月14日、北公民館をスタート・ゴールに開催されました。今回は前回の2倍近い372人が参加、地図を頼りに歩きながら、町を再発見しました。

(くわしくは、広報かんだ12月10日号で特集します)

12月12日(土)

親子凧作り教室 参加者募集



来春1月24日(日)
開催決定!

第3回凧揚げカーニバル



寒い冬を吹き飛ばす凧揚げカーニバルを、来年も向山公園で行います。

カラフルでユニークな凧を茹田の空に舞い上げましょう。

くわしくは、「広報かんだ」お知らせ版12月25日号でお知らせします。

昨年に引き続き、今年も凧のサークル「北九州鳥凧愛好会」のみなさんが、素敵な凧の作り方を伝授してくれます。作り方は簡単です。
作った凧は来春の凧揚げカーニバルで、さつそうと揚げてみましょう。

●日時 12月12日(土)午前9時~

●場所 馬場小学校体育館

●持つてくるもの カツタ-、ハサミ、定規(30cm程度)、鉛筆。

●申込先 役場社会教育課(☎434-1111内線341)へ電話でお申し込みください。(人数、年齢、住所、電話番号など)

※小学3年生以下はできるだけ親子で参加してください。

今、子どもたちは、親は…

今、子どもたちや親が家庭の中で、何を考え、求め、願つているのでしょうか。また、何をすべきなのでしょうか。

親の考え、子どもの考えを率直に話し合うシンポジウムを開催します。みんなの多数の参加をお願いします。

●日時 11月28日(土)

午後1時開場、2時開会

●場所 中央公民館大ホール

●パネラー

茹田中学校

新津中学校

猪本聰さん

山下秀明さん

石田正枝さん

●コーディネーター

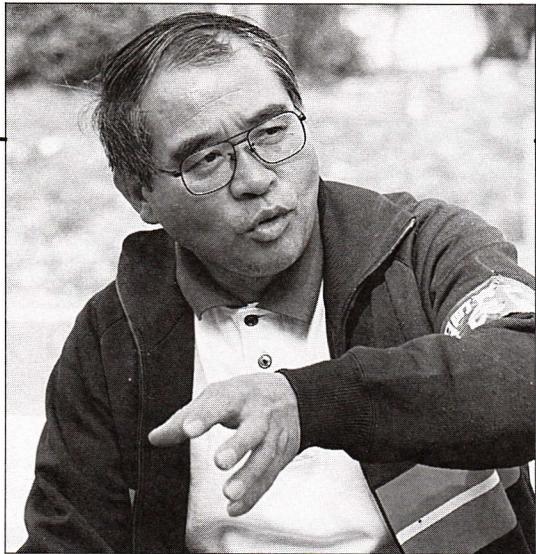
田川市参与 河角英雄さん

母親代表

社会教育指導員

後藤正男さん

茹田町青少年育成町民会議
「家庭部会シンポジウム」開催



シリーズ人 ③

かんだレクリエーション研究会

奥野 武則さん

「ふれあい」の楽しさを伝えたい 遊び、心を持ち続けて、

奥野さん レク研が目指すものは何でしょうか。

町民会議のイベントを実施するとき頼りになるのが、かんだレクリエーション研究会（獅子戸勝彦会長）です。今回のウオークラリーでもコースの設定、ゲームづくりを始め、裏方として活躍していただきました。

ウオーカラリー会場で会員の奥野武則さんにお話を伺いました。

◇ 研究会の活動を始めて、どのくらいになりますか。

奥野さん もう十二年になりますね。

—— 主に、どういった活動をしてていますか。

奥野さん 今年は、中央公民館とタイアップして、ふれあい少年学級やレクリエーション講座などに取り組んでいます。ウォーカラリーは町民会議が主催する前は独自に実施していました。

また、凧作り教室や凧揚げ大会でもお手伝いさせていただきます。

みなさん遊び心を持つているからじゃないですか。童心に帰つて、遊びに熱中できるから長続きできるのだと思いますよ。

奥野さん みんな遊び心を持つているからじゃないですか。童心に帰つて、遊びに熱中できるから長続きできるのだと思いますよ。

—— 今後の抱負をお聞かせください。

奥野さん ひとつは、生涯学習が叫ばれるときですから、何か活動をしたいという人たちの相談相手になりたいと思います。もう一つは、レク研独自の新しい活動を起こしたいですね。今、会員の間から、自然の素材を使ったクラフトづくりなど新しいアイデアが出ています。

それから、レクリエーションの輪をもつと広げ、特に若い人たちを巻き込んでいきたいと思っています。

司城祐美さんのポスターが 県教育委員会冊子の表紙に

このほど、福岡県教育委員会が発行した冊子「ふくおかの青少年育成―市町村活動事例Ⅳ」の表紙を、与原小学校の司城祐美さんのポスターが飾りました。この作品は、平成三年度青少年の健全育成ポスター募集で、福岡県教育委員会賞を受賞した作品です。



ご存じですか

家庭の日

みなさんのまわりを見てください。この家庭も、家族のどなたも、それぞれ忙しい毎日を送られていますね。そのため、油断をすると、家庭の中で暖かい結び付きが薄れときそうです。

そこで、月に一日でもいいから、家族みんなでスポーツを楽しんだり、語らいの時間をもつたらいな、という願いから、毎月第三日曜日を「家庭の日」と決めています。

毎月第三日曜日は
「家庭の日」です。



一親と子の心がふれ合う
1日を過ごしましょう

ご存じですか
オアシス運動

私たちの社会生活にとつて基本となる
四つのあいさつ

シアオ
ハヨウゴザイマス
ツレイシマシタ
ミマセンデシタ

アオ
リガトウゴザイマス
ツレバシマシタ
ミマセンデシタ

をみんなで進んで交わし合うことによつて、少しでも明るい世の中にしていることういう運動です。

青少年相談Q&A

青少年教育相談室に寄せられた相談ケースの中よりあげてみました。

Q

中学2年生の子どもの部屋から「たばこ」が見つかりました。「中学生なのにたばこを吸うなんて」としかりました。すると、子どもは「僕だけじゃないよ」と反発しました。

この場合、どうしたらよいのでしょうか。

A

まず、頭ごなしにしかっても効果はないと考えてください。ピシャリと言ったつもりが、予期せぬ子どもの切り返しにあって、めんくらっているお母さんが多いと思います。

たばこを吸わせたくない気持ちはよく分かりますが、頭ごなしに言っても、その効果は期待できません。

たばこを吸う背景には交友関係があります。一つは仲間意識からです。してはいけないことを皆でやって秘密を共有し、仲間意識を確認する媒体としての役割を果たしていることが多いと思います。

頭ごなしにしかりつけるのは逆効果になりかねませんが、喫煙は絶対に認めないと毅然とした態度は崩してほしくないものです。たばこは非行への入口と思ってください。親の接し方しだいで子どもは救われるし、泥沼へと追いやられることにもなりかねません。

今の時代にたばこくらいといった親の甘い認識、また、理解ある態度は将来に禍根を残しかねません。子どもの「へ理屈」にたじろいで、たばこを黙認してしまうのも問題です。

子どもがたばこを吸うのを知ったとき、お父さん、お母さん、あなたの生き方が問われていると思ってください。確固たる生き方をしていない人ほど、子どもに言い負かされたり、逆に子どもに迎合する態度をとってしまうことになるのではないかでしょうか。ここが思案のしどころと思って頑張ってください。

悩んでいないで
気軽にダイヤル

☎436-1152
青少年教育相談室

☎434-1111
内線341
総務部会
編集・発行
苅田町青少年育成町民会議

※祝祭日は除きます。

面接相談 毎週水・木曜日
午前9時～午後4時
毎月第2・第4金曜日
午前9時～午後4時

三原文化会館

教育委員会では、青少年の健全な育成をと「青少年教育相談室」を開設しています。ご利用ください。
勉強や進路、友達、家庭や親子関係、子どもの変化、しつけなどの問題解決への手助けのために、まずは、気軽にダイヤルしてください。秘密は固く守ります。